



吉子川



令和7年5月2日(金)
学校だより NO. 11
中島村立吉子川小学校
発行責任者 校長 木戸美智子

【めざす児童像】

○あかるく たくましい子ども (体)
○やさしく おもいやりのある子ども (徳)
○めあてをもって がんばる子ども (知)

【よしコッピ】

吉子川小学校
のあやめの花に
住む小鳥の妖精

今月のいきいき中島っ子 学びの
十か条 (5月)

きまり、ルールは守って当たり前
落ち着いた環境で高まる集中力

◇ 第1回PTA専門委員会全体会～委員の皆様へ感謝！～ ◇

4月30日(水) 18:00から、第1回PTA専門委員会全体会が開催されました。委員の皆様は、お仕事を終えた後でお疲れであったかと思うのですが、ご参加くださり、組織や活動計画について決定してくださりました。また、5月17日に迫る大運動会協力についても確認しました。

厚生委員会委員長 久保木 進 さん
(5年 あかりさん)
副委員長 吉田 奈津恵さん
(4年 涼駕さん)
補導委員会委員長 斎藤 裕 さん
(5年 花佳さん)
副委員長 城戸口 聡子さん
(3年 紗英さん)

どうぞよろしお願いいたします！



◇ 大運動会は5月17日(土)です！～ところでなぜ運動会を行うのでしょうか？～ ◇

今年度は、5年仁科陽翔さんが考えたスローガン「あやめっ子 限界を超えて 勝利をつかめ！」のもと、次のような願いを込めて運動会に向けて取り組んでいます。

1「頑張る」ことを、身をもって知る 「頑張る」という言葉は、私たちの生活の中でよく使われます。それゆえ安易に使ってしまったり、それほど頑張ってもいないのに「頑張りました」と言ったりする場面が見られます。そんな子どもたちに真の意味で「頑張る」ことを、身をもって体験してほしいと願っています。学校ではこの運動会に向けて「出し切る」をキーワードにして取り組みたいと思います。自分のもっている力を精一杯出す。仲間と共に知恵を出し合い力の限りやり抜く。そんな体験が子どもたちを大きく、たくましく成長させると期待しています。

2「優しい心」を耕す 真に頑張ろうとすればするほど、そこには苦しさもあるはずです。人には弱さがあるので、そこから逃げたくなる気持ちと戦わなくてはなりません。そんなときに支えてくれるのが「仲間」であり「家族」です。仲間を励まして一緒に頑張ったり反対に自分があきらめてしまいそうな時に、仲間や家族の励ましのお陰で頑張りが切れたりします。そういった人と人のつながりが一人一人の子を高め、感謝の気持ちへと発展させていきます。「感謝」の気持ちは、相手の立場に立って考えられる優しさがあるからもちことができます。運動会に向けて取り組む中で、仲間を思いやり、感謝する体験をし「優しい心」が耕されていくことを期待しています。

3「自分・仲間のよさ」を認識する 上記で述べたような取組の中で、子どもたちは大きく成長しますが、当の本人はそのことにはなかなか気付けないものです。そこで頑張ったり優しい姿をクラスの仲間や担任、家族がきちんと価値付けることで「自分」や「仲間」のよさを自覚するようになります。自分や仲間のよさを認識することで、以前のよりも、もっと自分のことや仲間のことを好きになってくれることを期待しています。

